

《課題名》

外傷例に置ける損傷部位の重症度と損傷発生メカニズムの解析

《研究対象者》

本学法医学部門で法医解剖された方で、「法医解剖で得られたデータに基づく疫学的研究ならびに残余試料を用いた医学研究の実施について」にご協力いただいている方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している情報（及び試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方のご遺族おかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

研究課題名：外傷例に置ける損傷部位の重症度と損傷発生メカニズムの解析

研究期間： 2015年10月27日～2029年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門 一杉正仁

（２）研究の意義、目的について

法医学では、法医解剖及びその後の検査に基づき、異状死体に対する死因や死に至るメカニズムを究明しています。これは、死者の人権を守ることに繋がっています。交通事故、転倒・転落、暴行などによって生じる外傷は、その発生機序と成傷器の特徴が重症度に大きな影響を与えます。損傷の程度とそのメカニズムを解析することで、外傷の初期治療や搬送などの外傷対応に役立つと考えられ、社会貢献にもつながります。

（３）研究の方法について

過去の剖検例における外傷についての情報をもとに、年齢、死因、既往歴別の外傷発生頻度の集計を行います。また、損傷重症度を算出し、損傷メカニズムの解析を行います。記録が不鮮明な場合には、保存組織切片を用います。

（４）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、亡くなられた方やご遺族のプライバシーに十分配慮いたします。解剖検査時に得られた情報のなかで、研究に必要としない個人情報は削除し、新たな番号を割り当てることで個人を特定できないようにします。また、研究を学会や論文などで発表する際にも、個人を特定できないようにして公表します。

（５）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方のご遺族は、希望される場合に、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

ご遺族の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用(又は他の研究への提供を)停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門 一杉正仁

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2200

E-mail：hqlegal@belle.shiga-med.ac.jp